

科目分類	専門基礎科目 健康の理解と健康支援	開講時期	1年 後期
授業科目	形態機能学Ⅱ		
選択／必修	必修	単位数（時間数）	2単位 60時間
授業形態	講義		
担当教員	林 祐一 鈴木 一也		
メールアドレス	y-hayashi@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	授業の前後

授業目的	異常を知るには、まず正常を理解している必要があります。言い換えれば、正常が分かっているならば異常を理解することは容易です。医学における一番中心の柱ともいえる内容です。がんばりましょう。	
授業概要	正常な状態の人体の形態および機能などを全般的に学びます。これまでの医学の歩みを短時間で辿ることになり、壮大で興味深い内容です。ホメオスタシス、呼吸器系、循環器系、脳・神経系、泌尿器系、生殖器系	
授業内容	第1回 ホメオスタシス 第2回 細胞の構造と機能 第3回 遺伝子、ゲノムとその周辺 第4回 まとめ 第5回 呼吸器（鼻・咽頭・喉頭・気管・気管支・肺の構造） 第6回 呼吸器（換気・拡散、肺および組織におけるガス交換） 第7回 呼吸器（血液の呼吸ガス運搬） 第8回 呼吸器（呼吸運動と調節） 第9回 まとめ 第10回 循環器（心臓の構造） 第11回 循環器（心筋の興奮と収縮） 第12回 循環器（刺激伝導系、心電図） 第13回 循環器（心臓と血流、血管） 第14回 循環器（血管の走行と役割） 第15回 循環器（リンパの働きなど） 第16回 まとめ	第17回 脳・神経系（自律神経系） 第18回 脳・神経系（中枢神経～脊髄） 第19回 脳・神経系（脳神経） 第20回 脳・神経系（末梢神経） 第21回 まとめ 第22回 泌尿器系（尿の生成・腎臓の働き） 第23回 泌尿器系（糸球体・尿細管） 第24回 泌尿器系（尿路・排尿） 第25回 泌尿器系（酸塩基平衡） 第26回 生殖と老化（女性の生殖器・男性の生殖器） 第27回 生殖と老化（受精と発生） 第28回 生殖と老化（個体としての成長） 第29回 生殖と老化（更年期・老化） 第30回 まとめ 第1～4回 第17～30回 林 第5～16回 鈴木
教科書 参考書等	教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学（第9版）2015、坂井建雄、岡田隆夫、医学書院 参考書：ぜんぶわかる人体解剖図 坂井建雄、橋本尚嗣、成美堂出版 新版 生理学の基本 中島雅美、マイナビ出版（ISBN978-4-415-30619-3）	

成績評価 基準・方法	試験、小テスト。合格基準は試験と小テストの合計が60%以上。
履修要件	特になし
留意事項 その他	学習領域が広範囲なので教科書での予習が必要です。
実務経験のある 教員の教育方法	臨床医としての経験を活かして、人の体の形態・機能と日常生活との関係について講義を行う。